

私は中高6年間通して英語が苦手な最後の最後まで足を引っ張り続けていました。しかし、高3共通テスト後の期間によく職員室の英語の先生に英作文や英文要約を見てもらい、合格を掠め取ることができるくらいに英語の力を伸ばすことができました。これはある先生に私が言われたことなのですが、わからないところは先生方を使い倒すつもりでしつこく質問し、着実に自分の力を磨いていくのが良い勉強のあり方だということです。全く持ってその通りで、どれほど良い教材を用いたとて一人で得られる学びには限りがあり、他人にためらいなく頼れるこの環境を大事にしてほしいと思います。あと、ある程度の難関校を狙うなら高3が始まる前に数学か英語のどちらかは苦手から脱却しないと厳しいと思います。先述の通り、私は英語が苦手でしたが、数学はそこそこできたので、英語に比較的多めに時間を割けたのでなんとかありました。しかし、もし数学もだめだったら、たぶん君たちのライバルになっていたと思います。とにかく数学と英語に時間をかけてほしいです。あと、今年の私立大はものすごく難化しており、国立志望の人が片手間で対策したぐらいでは、君たちが思い浮かべるような良い大学は難しいと思うので、国立狙うならそれ一本に絞ると良いと思います。また、茨高の進路指導はかなり丁寧で、生徒一人ひとりに真摯に向き合ってくれます。実際、私も進路指導で得た情報はかなり役立ったため、様々な情報の錯綜する現代の受験において、茨高の進路指導はかなりの正確性を持つ良いものだと思います。合格を掴み取るに当たってかなり有益なものだと思います。困ったら学校の先生に相談、それが最も効率良く、正確な受験の攻略法な気がします。

文化祭では友人とダンスグループを組んで3年間活動しました。最初の1年目は右も左もわからずに終わりましたが、2年目は失敗を礎に大きく躍進し、会場を大盛り上がりさせ、3年目は文化祭の大トリを飾らせていただきました。一緒に踊ったほか5人はもちろん、黒子や音楽の編集をした友人、Tシャツをデザインした友人など様々な仲間たちとの協力によってあのステージを成し遂げたことは最高の思い出です。また、高校2年次に社会科弁論大会というイベントがあるのですが、私はそこで愛について語りました。ステージに立った時、体が震える感覚を感じましたが、語り出すと一周回って吹っ切れて、全力を出し切れて、会場を大盛り上がりさせました。

茨中・茨高の良いところは、愉快的な人が生徒や教師に多く、退屈しないところだと思います。お陰で様々な趣味嗜好を持つ人間と関わり合い、様々な知見を得ることができて楽しかったです。新しい考え方や物事を知り、たぶん私はここでお金では買えない大事なものを手にしました。